

# 『桐岡ナス』を学んで次世代につなげよう

## 多久桐岡おばあちゃんの食べもの伝承塾

伝統的な農産物を見直し、食べ方や保存法を次世代につなぐ『食べもの伝承塾』が10月11日、桐岡公民館で行われました。

佐城地区農産物直売所・加工所連絡協議会が各地域で開いているもので、今回は「桐岡ナス生産地のおばあちゃんと調理実習や生産現場視察などでふれあい、技術や知恵を通して継承に役立てよう」と、農産物加工所『杏工房』が主催。生産者の山田ハルヨさんら8人が講師として、管内小中学校の栄養教諭や学生など14人を迎えました。

実践では、皮くじらを使った「味噌ごろも」、大根葉と和えた「ごま和え」、フライパンで蒸し焼きした「グラタン」、保存食の「かんころ煮」など農家に伝わる5種類の桐岡ナスメニューを一緒に調理し、会食のテーブルには旬の野菜料理や果物なども並びました。



▲手ほどきを受けて桐岡ナスを調理する参加者

調理実習と共に、地域や特産物の歴史も学んだ中央中3年で生徒会厚生部の池上綾佳部長と中野睦美副部長は「こんなにおいしい食材が多久にあり、特長や調理法を教わってよかった。文化祭で発表して学校みんなにも知ってほしい」と笑顔。杏工房代表の陣内謙三さんは、「評判の高まりが改めて見直す機会を増やし、集落の人たちの意識を変えつつあります。今日参加のみなさんにもおいしさが伝わって嬉しい。課題をクリアしながらこのナスが、農業振興の新たな起爆剤になればと思います」と、今後に期待を込めました。



## 市長のWindow

## 市長コラム

▼市民のみなさんへ

### おもいやりを教えられた

先日利用した飛行機の機長アナウンスでのこと。「少し揺れますが、まっ……たく問題ありません、ご安心ください」。この機長アナウンス、実は「まっ……たく」の間の入れ方が絶妙だった。思わず隣席の人と笑顔を交わし「なかなかですね」と語り合った。しかも、これで終わりではなかった。再度の揺れでも「まっ……たく安全です」。またも隣席者と笑顔になった。

キャビン・アテンダント（スチュワーデス）に「この機長さんはいつもこのように話されますか」と尋ねると、「はい、それで有名な方です」の説明。なるほどそうかと感心した。

目的地に近づき機体が下降し始めると「見上げれば、北斗の七星やカシオペアなど天空の星座の星々が皆様のフライトを見守っています」。まるであのジェット・ストリーム（ラジオ番組）の語り。着陸時には「では一句」も。その度に機内で歓声が響く。その粋な配慮への感謝のミニカードを乗務員に託した。

おまけもある。到着して空港ビルに横付けされ降機すると、ボーディングブリッジの小窓で乗客が手を振っている。その視線の先には操縦席で手を振る機長。通路でも機長に手を振りながら降りていく乗客。疲れも忘れる爽快感。皆笑顔だった。

この出来事は様々なことを教えてくれる。機長の仕事は、乗客を安全で予定通りに目的地に届けること。それは全ての機長に同じ使命、同じ仕事。その同じ仕事に人と違う工夫をして、より多くの人々を笑顔にする。それはもう同じ仕事ではないと気付く。できることで常に少し工夫する愛情。皆がそんなやさやかな工夫を重ねれば、幸せのスマイルは広がる。（俊彦）

## 市交際費支出状況

▼平成21年度9月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	2	10,000
	累計	81	192,830
見舞い	今月分	0	0
	累計	2	20,000
御祝	今月分	7	35,000
	累計	27	141,060
賛助	今月分	1	10,000
	累計	4	27,600
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	1	2,740
	累計	62	150,325
会費	今月分	1	5,000
	累計	8	35,500
その他	今月分	0	0
	累計	2	6,510
合計	今月分	12	62,740
	累計	186	573,825

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115